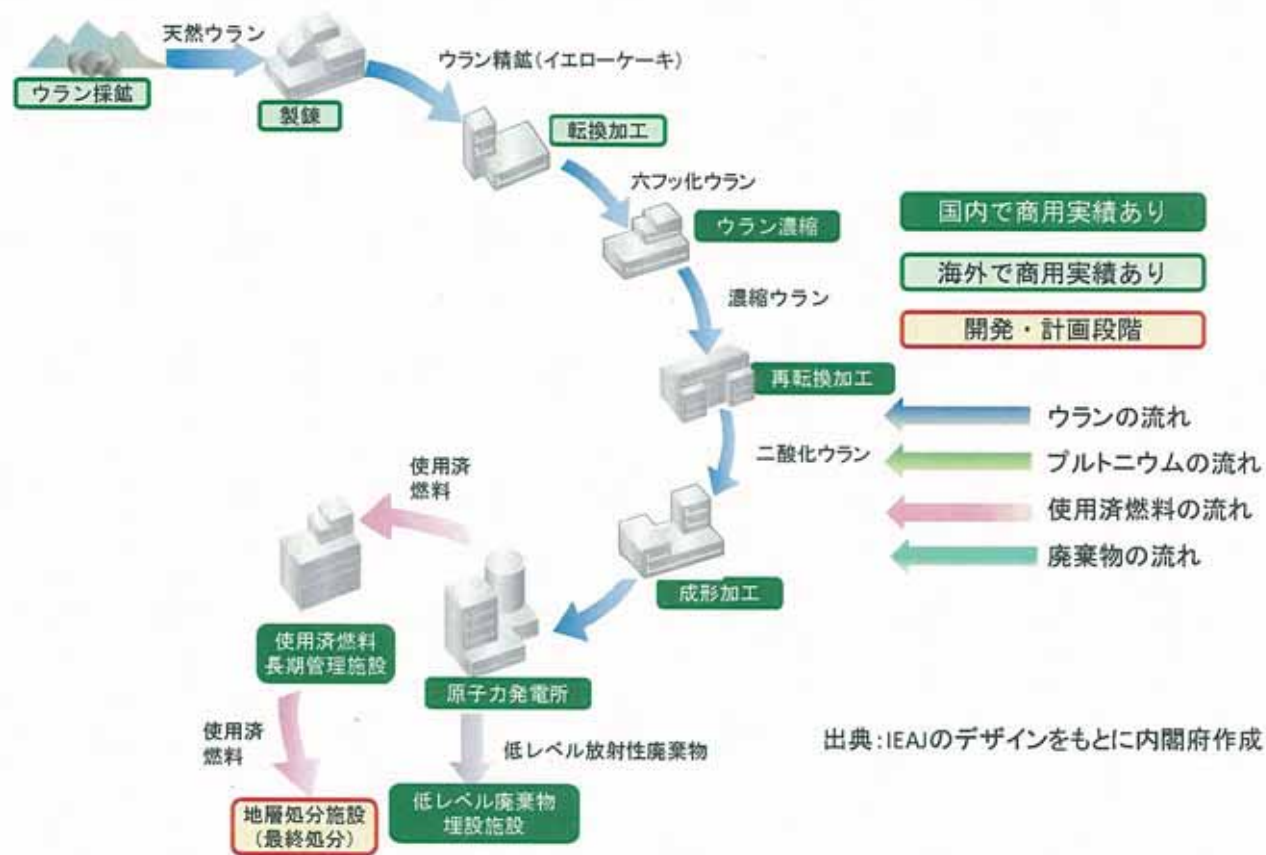


LWRワンズスルー



使用済燃料は(長期管理を経て)直接処分

コメント

オプションの例

ここにこの紙が存在する意味が無い
修正のうえ、参考資料の該当技術
が登場するインデックスとすること
(p43へ移動)

燃料有効利用

- トリウム+Pu燃料、新型転換炉、長寿命炉 など

ウラン資源確保

- 海水ウラン捕集 など

Pu利用の代替

- トリウムサイクル など

アクチノイド燃焼

- 加速器駆動システム、新型転換炉 など

コメント

安全性：安全の確保

LWRワンスルー

LWR、使用済燃料長期管理施設、地層処分場の安全確保が重要

LWR-MOX限定リサイクル

LWR-MOXリサイクル

LWR、使用済燃料長期管理施設、地層処分場の安全確保に加え、MOX燃料の加工、再処理工場などの安全確保が**重要**

LWR-FR(アクチノイド専焼)

FBR

LWR、使用済燃料長期管理施設、地層処分場の安全確保及び、MOX燃料の加工、再処理工場などの安全確保に加え、高速(増殖)炉サイクル利用に係る各施設の安全確保が**重要**

一つにまとめる

LWRワンスルーと横並びで『重要』とする

安全性：ライフサイクルでの被ばくリスク(1/2)

いずれの選択肢でも、被ばく線量は基準値(一般公衆及び職業人の線量限度)を下回る。

LWRワンスルー

ウラン消費量が最大となるため、フロントエンドに関わる被ばく量は最大となるが、バックエンドの被ばく量は最小となる

LWR-MOX限定リサイクル

LWR-MOXリサイクル

ウランがリサイクルされる量に応じてフロントエンドに関わる被ばくリスクが低減される可能性があるが、バックエンドの被ばく量は増大する可能性がある

LWR-FR(アクチノイド専焼)

高速炉サイクルの導入量に応じてフロントエンドに関わる被ばくリスクが低減される可能性があるが、バックエンドの被ばく量は増大する可能性がある

FBR

高速増殖炉サイクルの導入量に応じて、フロントエンドをはじめ核燃料サイクル全体の物量が減り、その被ばくリスクが低減される可能性があるが、バックエンドの被ばく量は増大する可能性がある